

### 『ペット』について

普段生活する中で「ペットが家族の一員になってきている」と感じるのはどんな時ですか？  
あなたご自身がペットを飼っている、飼っていないに関わらず、お教えてください。

●:男性 ○:女性 ( )内は年齢

- ペットが死んでしまった時。いなくなって分かるその存在感 (22)
- 飼っている亀の起きる時間、寝る時間、夕食を食べる時間が自分と同じになっている事 (29)
- ペットの為に旅行の都合を変えたりする時 (30)
- ペットの体調が悪くなると、家族(以上?)のようにメチャクチャ心配するから (33)
- 目と目を合わせて微笑む時 (35)
- 犬も年を取ってきて、つまずいたり転んだりする事が多くなり、そのたびに家族みんなが心配して様子を見に行く時等 (35)
- ペットに無視された時 (29)
- 寂しさを埋めてくれる時、人間にはできない動きや無邪気な行動が、家族の一員として考えられているのではないだろうか (30)
- 一緒に寝ている時、どんな時でもそばにいてくれる事。帰りを待っていてくれる事 (23)
- 会話に「～ちゃんが」と出てきて、それがペットの事を指していた時 (32)
- 話している時。気持ちが通じていると思う (35)
- 家族で旅行を計画した時に、ペットを連れて行ける場所にするかどうかで激論となる時 (40)
- ペットが元気がないと心配だし、一匹で留守番させていると寂しがっているのではないかと心配になる時。家族の一員と感じる (35)
- 不思議な事に、家族の誰かが悲しんでいる時、ペットの猫も悲しげな表情を見せる。こんな時、あ～家族の一員だ、と感じる (40)
- 我が家には金魚がいるが、毎朝起きた時に生きているのを確認する時(ホッとする) (41)
- 子供が相手にしてくれず、妻も相手にしてくれず、ペットだけが出迎えてくれる時 (44)
- 外出時間が長くなると留守番をさせるのがかわいそうで、家族の誰かを留守番隊に手配する時、ペットも家族だと思う (46)

- 認知症の母が、ペット相手にしゃべっている時等、ペットなりの役割を果たしていると思う (50)
- 同じ時間に食事をする時 (42)
- 唯一、帰宅すると出迎えてくれる(妻や子供は出て来ない) (52)
- 誤って猫の尾を踏んで「ギャー」と鳴かれた。思わず「ごめん」と連発して、猫に許してもらった時 (52)
- 動物病院には人間の病院と変わらない設備がある。ペットではなく家族と考える人が多いからではないか? (51)
- ウサギを飼っている。ウサギは猫や犬のように反応しないが、その顔つきや目を見ていると、こいつももう7年もこの家にいるのだなあ、と思う (54)
- 夜、布団に妻との間に愛犬が川の字になって寝る時や、赤ちゃん言葉で自然に話しかけてしまう時 (57)
- 帰宅した時に出迎えてくれる。子供と同じで、育て方を間違えると自分に跳ね返ってくる (58)
- 体調が悪く寝ている時に、普段知らん顔している猫が心配そうに顔を覗き込んで小さな声で鳴いている時 (60)
- 犬を飼っているが、何かにつけ、人に対するように話しかけている (55)
- 壁に家族の写真を飾っているけれど、ワンちゃん達の写真もその横に並んでいて、当然家族そのもの (61)
- 3匹の犬を飼っているが、本当の子供だと感じる。ジッと見つめる目や仕草等、気持ちを伝えてくれる事が家族の一員だと感じる時である (62)
- 家族だった娘が結婚したりして、夫婦二人になってしまった時に、ペットがいるだけで寂しさを和らげてくれると思う。家族だと思う時だと思う (65)
- 今、オカメインコを飼っているが、夫婦2人の生活の潤滑油になっている。出かける時は察知して、ピーピー鳴いて「行かないで!」と言っているようで可愛い! (67)
- ペットの顔が飼っている人に似てくる時 (68)
- 近くに住む長女のところで飼っている犬が、いかにも家族で、他人ではないという目つきで見ると (71)
- 家に帰った時、犬や猫が出てこない心配する。いるのが当たり前になっている感覚がする (65)
- 行く時は「行ってきます」、帰ってきたら「ただいま」と、つつい声をかけてしまう時(ついでに餌もあげてしまう…) (19)
- 帰宅時間が遅くなると、早く帰りたくなる時。ペットに向かって一日の出来事を語っている時 (24)
- ペットを"うちの子"と呼ぶ人を見た時 (33)
- ペットの医療保険や葬儀サービスがビジネスとして成立している事 (41)
- 母親が私を呼ぶ時、間違えてペットの名前で呼んだ時 (29)
- 帰宅した時に、走って足元に絡んで体全体で喜びを表現する時 (27)
- 帰ってくると、鳴いて後をくっついて来たり、一緒に寝たり。私がいないと生きていけないと思う (27)
- 犬を飼っているのですが、人間と同じように感情も持っていますし、子供みたいに思ってます。室内犬が増えてきたからっていうのもあると思います (29)
- 一緒にいると癒される時。外出中、「あ…これこの子(犬、猫)に買って行ってあげよう」と無条件で思う時 (30)

- "ちゃん"付けで呼ぶ。幼児言葉(子供に話しかけるような言葉)で話しかける (37)
- 思わず普通に話しかけちゃった時。猫がいますが、鳴き方で気持ちが分かるようになってからは、本当に我が家の長ニャン(長男)です (32)
- 旅行で、常にペット可の宿を探すようになった時 (38)
- 夜中、家族が寝た後に家事をしていると、犬がすぐ近くで寄り添っていてくれる。移動すると、その都度起きてついてくる。朝・夕の散歩は欠かせないライフワークだし、家族の中心でムードメーカー (39)
- ちょっと体調を崩すと、家中が大騒ぎ(高齢犬なので…)。出かける時は、まず犬の心配。犬の世話が第一。一緒に寝る。家族には話さなくても犬には話す (37)
- 不況と言われる中、友人の勧める損保では、ペット保険の契約が絶える事がないとの話を聞いた時 (35)
- 外出していても、「どうしてるかな？」と気になって仕方がない。子供が小さい頃、保育園に預けていた頃の感覚と似ていて、すっかり家族になったと思う (42)
- 先日、友人の猫が亡くなって、ちゃんとお葬式をして火葬をしたと聞いて、ペットも家族だと思った (46)
- 昔は、子供の写真の年賀状が数多くあったが、今はペットの写真(プリクラも含め)入りが多い (48)
- 外出をしていて、ふとペットの事を思い出す時。今頃、家で何をしているのかなあ、と想像する時 (48)
- ペットの存在は家族以上なので、死んだ時は悲しみに耐えられるかすごく心配している。食費はケチっても、ペットの食費は同じ (47)
- 皆、医療費が高いのに、惜し気もなく医者に払っている。検査をしたり、鍼治療をしたり…かけがえのない家族だからだろう (51)
- 自分が帰宅する時間を気にする事です。「待ってる」と思うと「早く帰らなくちゃ！」と思い、足早になります (53)
- ペットに嬉しかった事、不満、悲しかった事等々話し、話し相手にさせている人が多くなっている。人間・家族と同じだなあ、と思う (53)
- 家族の体調に合わせて行動しているのかな？と思える時。ツライ時は心配そうな目をするとか (59)
- 犬がいる。とにかく朝から晩まで話しかけながら暮らしている。犬絡みの暮らしをしていると思う (60)
- 病院にかかる時、人間の名字の下にペットの名前をつけている。病気の時、子供のように心を痛める。会話のない熟年夫婦のかすがいになる (59)
- ペット(犬を飼っている)がいると、空気が和みます。ツライ時や悲しい時、私を心身共に温めてくれる得がたい犬です。家族の出迎えを必ずしてくれるのです (57)
- 帰宅時に、大きく尻尾を振って迎えてくれた時(今はいませんが、犬を15年飼っていた時に思いました) (59)
- まるで赤ちゃんがいるかのように、常に第一に考えなければいけない存在。嬉しい時も悲しい時もいい話し相手であり、寝食を共にしている (52)
- 犬が死んだ時の喪失感は、家族の他界時と同じだった (62)
- 話す事はできないが、犬は人間の言葉・感情を理解して、悲しい時・嬉しい時に分かち合え、とても慰められる (63)
- ペットを飼っている人の会話の中で、ペットを「この子」「うちの子」「うちの〇〇ちゃん」と我が子のように呼んでいる時 (63)
- 夜、ベッドの下から猫の寝息が聞こえてくる時 (74)

- 子供代わり、いや、それ以上かな？私が可愛がった分だけ応えてくれる。口答えもしないしね～（75）
- 子供もいなくなり、主人も亡くなり、ペットがいれば心が癒されると思う（72）
- 帰宅時は必ず迎えてくれるし、食事時はそばにいるし、孫が寝ている時は子守りするように寄り添って寝る。人間の言葉もかなり理解する（65）

---

生活総研では、独自の調査パネル「生活発見パートナーズ」を対象に、様々なテーマについて生活者の言いたいことや思っていることを調査しています。本資料は、その結果のトピックスをお伝えするものです。

**【調査概要】**

調査対象者：生活総研パネル「生活発見パートナーズ」18歳～75歳男女

サンプル数：413人

調査地域：首都圏

調査方法：郵送法

※その月の回収状況によって、有効回収数、年齢分布は異なります。